

トピックス

○インフルエンザ注意報が発令されました。（令和5年2月8日）

千葉県では、2023年第5週(1月30日～2月5日)におけるインフルエンザ定点当たり患者報告数が**10.45**人となり、国が定める注意報基準値(10)を超えたため、インフルエンザの予防対策を更に徹底いただくことを目的に、2月8日、「インフルエンザ注意報」を発令しました。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2022/infulu-tyuihou2023.html>

(千葉県ホームページ:インフルエンザ注意報の発令について(令和5年2月8日))

インフルエンザは、突然の高熱、頭痛、関節痛など、普通の風邪に比べて全身症状が強く、気管支炎や肺炎などを合併し重症化することがあるため、体力のない高齢者や乳幼児などは、特に注意が必要です。インフルエンザの予防のため、手洗いや咳エチケットの励行に努めましょう。

夷隅保健所管内定点医療機関からの報告数は、2023年第1～第5週までに94件となりました。2022年の計12件と比較し、報告数が増加しています。

定点あたり患者報告数については、2023年第5週について県全体は10.45人、管内は2.20人となっています。県内保健所別では、松戸18.65人、船橋市17.47人、習志野14.50人と多く、そのほか印旛、長生、君津で10.0人を超えました。下記ホームページも参考にして、予防対策の確認等にお役立てください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/influenza-yobou.html>

(千葉県ホームページ:インフルエンザから身を守ろう)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/index.html

(厚生労働省ホームページ:インフルエンザ(総合ページ))

○院内感染対策講習会について(情報提供)

下記、厚生労働省ホームページに講習会の情報が掲載されています。

「新型コロナウイルス感染症に関する特別講習会」も含まれていますので、業務の参考にご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_21747.html

(厚生労働省ホームページ:院内感染対策について)

○サル痘に関する情報提供及び協力依頼について

令和5年2月9日に厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡が一部改正されました。

<https://www.mhlw.go.jp/content/001056124.pdf>

(厚生労働省:「サル痘に関する情報提供及び協力依頼について(令和5年2月9日事務連絡)」)

疾患に関する情報は下記ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/sarutou2022.html>

(千葉県ホームページ:サル痘について)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html

(厚生労働省ホームページ:サル痘について)

1 新型コロナウイルス感染症について

＜千葉県ホームページより＞

1) 千葉県内で確認された感染者数 (令和5年2月7日現在)

累計感染者数	入院中	重症	死亡
1,439,057	1,318	14	3,656

※9月26日に開始した発生届の限定化に伴い、感染者状況(現在の感染者数、自宅療養者数等の一部データは公開を終了しています。

2) PCR検査実施状況 (令和5年2月4日現在)

累積検査実施人数 (陰性化確認検査を除く)	直近1週間の検査人数
3,668,968	35,451

※県衛生研究所並びに保健所、医療機関及び民間検査機関等(千葉市、船橋市、柏市含む)における実施分の合計です。

※検査人数はPCR検査及び抗原検査の結果が含まれます。

※速報値のため、後日修正となる可能性があります。

◎千葉県発熱相談コールセンター

電話番号:0570-200-139

対応時間:24時間対応、土日祝日含む

2 2023年 管内の感染症発生状況

管内の医療機関から、5類感染症は、第5週に梅毒の発生届がありました。

- 管内の全数把握感染症情報 ● <類別・疾患別集計表>

区 分	累計 (2023年 発生分)
1 類感染症	0
2 類感染症	0
3 類感染症	0
4 類感染症	0
(※管内居住の患者数)	
5 類感染症 (※管内医療機関からの届出数)	1(梅毒)

- 管内定点把握対象疾患 ●

疾患名 (インフルエンザ及び小児科定点疾患)	2023年 1週~5週 の累計	直近5週の届出数				
		1週	2週	3週	4週	5週
1 インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く)	94	25	21	21	16	11
2 RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
3 咽頭結膜熱	1	1	0	0	0	0
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	0	0	0	1	0
5 感染性胃腸炎	2	0	0	1	1	0
6 水痘	3	0	1	1	0	1
7 手足口病	0	0	0	0	0	0
8 伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0
9 突発性発しん	0	0	0	0	0	0
10 ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0
11 流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	0

<参考>夷隅健康福祉センター管内の定点医療機関は、

インフルエンザ定点 : 5 医療機関

小児科定点 : 3 医療機関

の協力を得ています。

3 県内の感染症発生状況 (出典:千葉県感染症情報センター 2023年第5週 週報より) 第5週全数報告疾患集計表

一類感染症	今週	累計(年)	四類感染症(その2)	今週	累計(年)
エボラ出血熱	0	0	日本紅斑熱	0	0
クリミア・コンゴ出血熱	0	0	日本脳炎	0	0
痘そう	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0
南米出血熱	0	0	Bウイルス病	0	0
ペスト	0	0	鼻疽	0	0
マールブルグ病	0	0	ブルセラ症	0	0
ラッサ熱	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0
			ヘンドラウイルス感染症	0	0
			発しんチフス	0	0
			ボツリヌス症	0	0
			マラリア	0	0
			野兔病	0	0
			ライム病	0	0
			リッサウイルス感染症	0	0
			リフトバレー熱	0	0
			類鼻疽	0	0
			レジオネラ症	2	4
			レプトスピラ症	0	0
			ロッキー山紅斑熱	0	0
二類感染症	今週	累計(年)	五類感染症(全数)	今週	累計(年)
急性灰白髄炎	0	0	アメーバ赤痢	1	1
結核	7	59	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	1
ジフテリア	0	0	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	5
重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	急性弛緩性麻痺	0	0
中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	0	6
鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	クリプトスポリジウム症	0	0
鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0
			劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1
			後天性免疫不全症候群	0	4
			ジアルジア症	0	0
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0
			侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0
			侵襲性肺炎球菌感染症	1	4
			水痘(入院例)	0	0
			先天性風しん症候群	0	0
			梅毒	8	25
			播種性クリプトコックス症	0	1
			破傷風	1	2
			バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0
			バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0
			百日咳	0	1
			風しん	0	0
			麻しん	0	0
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0
三類感染症	今週	累計(年)	新型インフルエンザ等感染症(その2)	今週	累計(年)
コレラ	0	0	新型インフルエンザ	0	0
細菌性赤痢	0	0	再興型インフルエンザ	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	0	6			
腸チフス	0	0			
パラチフス	0	0			
四類感染症(その1)	今週	累計(年)			
E型肝炎	1	6			
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	0	0			
A型肝炎	0	1			
エキノコックス症	0	0			
黄熱	0	0			
オウム病	0	0			
オムスク出血熱	0	0			
回帰熱	0	0			
キャサナル森林病	0	0			
Q熱	0	0			
狂犬病	0	0			
コクシジオイデス症	0	0			
サル痘	0	1			
シカウイルス感染症	0	0			
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	0	0			
腎症候性出血熱	0	0			
西部ウマ脳炎	0	0			
ダニ媒介脳炎	0	0			
炭疽	0	0			
チクングニア熱	0	0			
つつが虫病	0	7			
デング熱	0	0			
東部ウマ脳炎	0	0			
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0			
ニパウイルス感染症	0	0			
新型インフルエンザ等感染症(その1)		累計			
新型コロナウイルス感染症*		1,438,457			

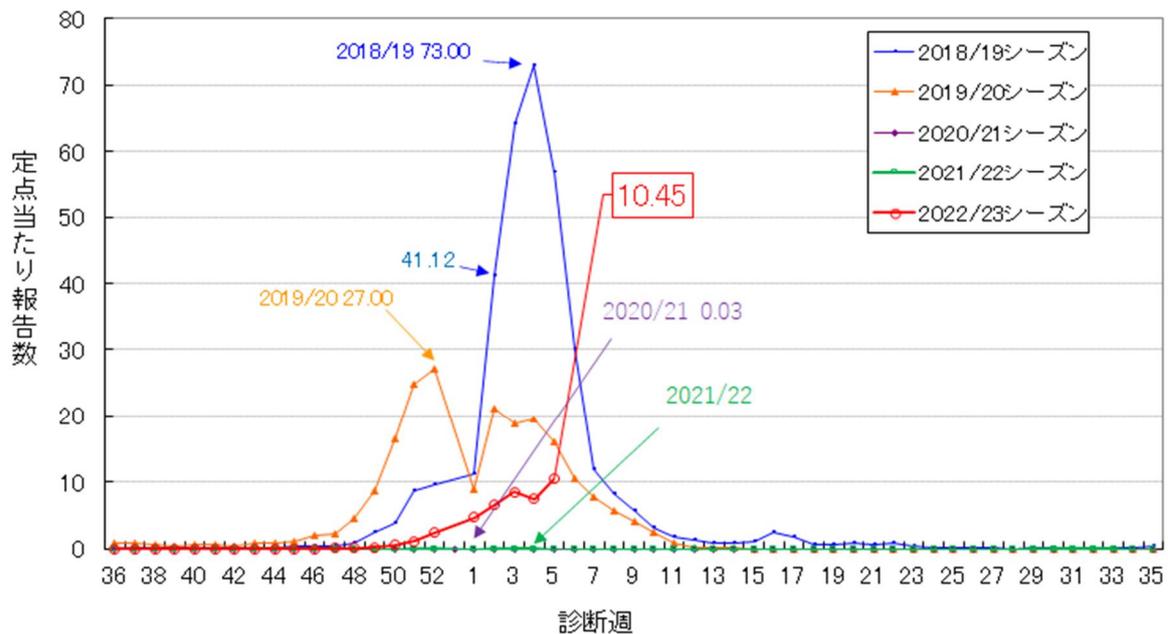
*千葉県報道発表による(2月7日13時現在)

【今週の注目疾患】(千葉県感染症情報センター—2023年5週より)

《インフルエンザ》

2023年第5週の県全体のインフルエンザ定点当たり報告数は、前週(2023年第4週)の7.49(人)から増加して10.45(人)となり、国が定める注意報基準値10.0(人)を超えた。注意報基準値を超えるのは、2019/2020シーズン以来、3シーズンぶりである。2018/2019シーズンから2022/2023シーズンまでの過去5シーズンのうち、特に患者報告数が多かったのは2018/2019シーズンであり、2019年第2週時点で定点当たり報告数41.12(人)となり、国が定める警報基準値(定点当たり報告数30.0(人))を上回る流行となった。新型コロナウイルス感染症の国内流行が始まった2020/2021シーズン、2021/2022シーズンは流行開始の目安とする1.0(人)を超えなかった。(図1)。

図1：千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数

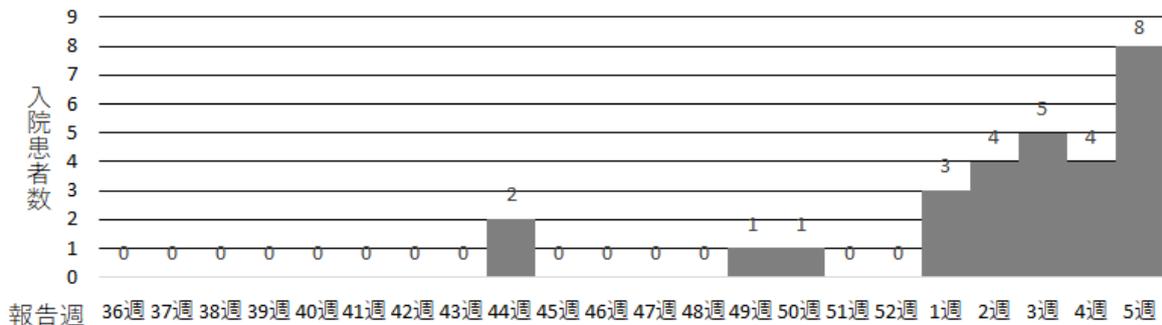


保健所管内別では松戸 18.65(人)、船橋市 17.47(人)、習志野 14.50(人)が多く、そのほか印旛、長生、君津で10.0(人)をこえた(図2)。

2023年第5週に報告のあった2216例のうち、A型1895例(85.5%)、B型18例(0.8%)、A型とB型両方陽性3例(0.1%)、型非鑑別キットで陽性127例(5.7%)、検査未実施(検査実施未確認例含む)173例(7.8%)であり、A型が多く検出されていた。

2022/2023 シーズンの基幹定点医療機関を対象としたインフルエンザ入院サーベイランスによる入院患者総数は 2022 年第 52 週までは 0~2 人で推移していたが、2023 年第 1 週以降は 3~8 人で推移しており増加傾向がみられている(図 3)。

図3：2022年第36週から2023年第5週までの県内基幹定点医療機関における
インフルエンザ入院患者数 (n=28)



2023 年第 4 週時点で全国の定点当たり報告数は 10.36(人)であり、注意報基準値を超えていた。近隣都県の定点当たり報告数は、埼玉県 7.05(人)、東京都 9.15(人)、神奈川県 9.88(人)であった。

注意報レベルは、今後 4 週以内に大きな流行が発生する可能性が高い、もしくは流行が継続していると疑われることを指すことから、引き続きインフルエンザの予防対策を徹底していただきたい。

・基本的な感染対策

- 1 外出後の手洗い 2 適度な湿度の保持 3 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- 4 人混みや繁華街への外出を控える 5 室内ではこまめに換気する 6 咳エチケット

千葉県:インフルエンザから身を守ろう

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/influenza-yobou.html>

感染症情報の受信先設定について

日頃、感染症対策の推進に御協力いただきありがとうございます。

【連絡】登録アドレスの廃止、変更等は連絡願います。

【利用にあたっての注意】

『夷隅感染症情報』の感染症の説明等は主に公的機関の情報を基に作られ、できるだけ最新で正確なものを発信するよう努めておりますが、御利用に際しては、利用機関の責任において御使用ください。また、メールの安全性についても県庁のネットワークシステムの一環として安全性の確保を図っておりますが、受信先におきましてもセキュリティー等の注意をお願いします。

※このアドレスは送信専用です。お問い合わせの際には下記まで御連絡ください。

<配信元>千葉県夷隅保健所

【お問い合わせ先】

isumiho3@mz.pref.chiba.lg.jp
